

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 シミ・水アカクリーナー  
 会社名 株式会社バンザイ  
 住所 〒105-8580 東京都港区芝2丁目31番19号  
 担当部門 営業情報企画部 リペア推進課  
 電話番号 03-3769-6882  
 FAX番号 03-3456-4691

## 2. 危険有害性の要約

分類の名称 分類基準に該当せず  
 危険性の要約 法に定める危険物に該当しない  
 有害性の要約 皮膚に長時間または繰り返し接触したときは肌荒れし、粘膜（目・呼吸器など）に接触した時は粘膜茂樹または損傷の恐れがある。  
 環境への影響 水棲生物に対して悪影響を及ぼす可能性がある

## 3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区分	混合物		
化学名	CAS No.	化審法 No.	備考
界面活性剤	登録あり	既存登録物質	
天然物由来研磨剤	登録あり	既存登録物質	
湿潤剤	登録あり	既存登録物質	
その他添加剤	登録あり	既存登録物質	
水	7732-18-5		
国連分類	国連の分類基準に該当しない		
国連番号	非該当		

## 4. 応急措置

吸入した場合 多量にミスト等を吸入した場合、直ちに新鮮な空気のところへ移し、保温しながら安静にする。呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合、気分が回復しない場合は直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 ただちに付着した部位を多量の水と石鹼を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

眼に入った場合 こすらずに直ちに清浄な水で少なくとも15分以上洗眼する。コンタクトレンズは外し、洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水が行きわたるようにする。刺激などの異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 無理に吐かせず、口の中を良く洗いすぐにコップ1~2杯の水を飲ませて、医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

# 製品安全データシート

消火方法	火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消化する。消火活動は可能な限り風上から行う。消火のための放水などにより、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をとる。
消火を行なう者の保護 消火剤	適切な呼吸具（保護手袋・保護マスク・保護眼鏡）を着用する。 水・泡消火剤・粉末消火剤・二酸化炭素

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用して飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
除去方法	漏出したものを密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は、ウエス、雑巾等で拭き取り多量の水ですすぐ。 回収した廃棄物は関連法規に基づき処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着用する。特に噴霧で使用する際は、保護マスクを着用する。本製品を乾燥させた場合は微粒子を生じるので、防塵マスクを着用する。取扱い後は手、顔などをよく洗い、うがいをする。 容器に衝撃を加えたり、引きずるなど乱暴な取扱いをしない。
保管	固く栓を締めしておく。直射日光、火気、熱源から遠ざけ、屋内の冷暗所に保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	規制なし
許容濃度	規制なし
設備対策	ミストの発生する作業では局所排気設備を設置する。 本製品を完全に乾燥させた場合は粉塵を生じるので防塵マスクを着用するなどして粉塵の吸入を避ける。
保護具	保護眼鏡、保護手袋等、着用を推奨する

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	不透明ペースト状
沸点	100℃
比重	1.18 (25℃)

# 製品安全データシート

pH	7.6 (原液) (代表値)
溶解性	水に希釈することは可能

## 10. 安定性及び反応性

引火性	水溶性であり引火しない
爆発限界	(下限) データなし (上限) データし
可燃性	不燃
発火性	データなし
酸化性	化学的に安定
自己反応性・爆発性	化学的に安定
安定性	化学的に安定
反応性	化学的に安定

## 11. 有害性情報

皮膚腐蝕性	皮膚は、長時間または、繰返し触れると荒れる恐れがある。
刺激性	眼に刺激があり、放置すると損傷の恐れがある。
急性毒性	データなし。
変異原性	データなし。
その他	水と反応して有害なガスを発生することはない。

## 12. 環境影響情報

生分解性について有用なデータなし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。  
容器、製造方法などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。  
排水処理により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか委託すること。

## 14. 輸送上の注意

陸上輸送	取扱い及び保管上の注意の項に従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。
注意事項	運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み荷崩れの防止を完全に行う。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	
有規則	該当せず
表示物質	該当せず

# 製品安全データシート

---

通知物質	該当せず
毒劇物取締法	該当せず
消防法	該当せず
PRTR法	該当せず

## 16. その他の情報

本文書の記載内容は弊社の専門家によるもので、発行時において最新の情報であると信じておりますが、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証をもなすものではありません。

本品の実際の使用条件や情報の利用に関しては、弊社の管理範囲外のものでありますので、御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。

特に、換気を十分にすること。熱・火花・静電気火花及び炎から隔離し、取り扱った後は手洗いを励行して下さい。

なお、法律・規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改定がありうることをご承知下さい。